

令和4年(2022年)6月30日  
総務委員会資料  
企画部企画課

## 中野二丁目再開発権利床活用事業事業者募集の選定結果について

中野二丁目再開発権利床活用事業事業者募集の選定結果について以下のとおり報告する。

### 1 募集の状況

#### (1) 経過

令和4年3月18日 募集要項の公表  
令和4年5月10日 応募、提案書の受付締切  
令和4年5月27日 提案内容によるプレゼンテーション審査

#### (2) 提案事業者数

提案事業者 2者

### 2 選定結果

#### (1) 審査結果

選定委員会の審査を踏まえ、区として優先交渉権者を選定した。

優先交渉権者：西松地所株式会社

#### (2) 企画提案概要書

別紙のとおり

なお、今後、選定した事業者と提案内容をベースに協議を進めていく。

### 3 今後の予定

選定した優先交渉権者と協議調整を行い、基本協定を締結することにより、事業実施事業者として決定する。

決定後、区及び中野二丁目地区市街地再開発組合と協議を進め、再開発建築物の竣工にあわせ、工事、契約手続等を行う。

令和4年7月 基本協定締結  
令和5年2月 内装等設計協議の完了  
令和6年2月 建物竣工、定期建物賃貸借契約締結、事業実施

# 私たちの想い

私たちは本プロジェクトに際し、中野区の一員として、地域に根差した事業を行います。

そして私たちの考える社会的役割は、地域社会や地域住民の懸け橋となり、**街と共に発展**していくことです。

## 全体基本方針 ～3つの場～

- 1. 本来事業が情報交流スペースと親和性があり、安定した事業 ▶▶▶ **学びの場**
- 2. 学びを通して人々が集い多世代交流できる場 ▶▶▶ **地域交流の場**
- 3. 中野区を守る防災拠点としての活用 ▶▶▶ **防災拠点の場**

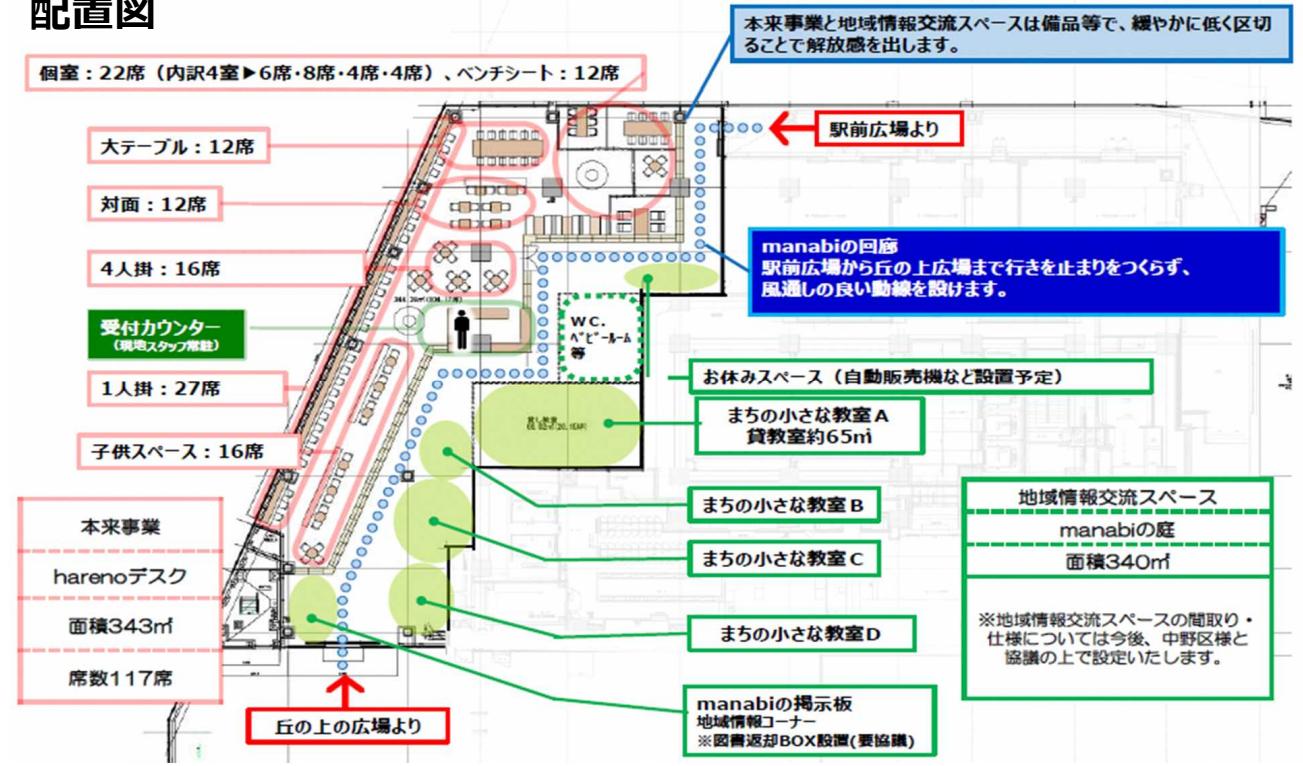
## 全体開発コンセプト

「**学び**」にスポットをあて、本来事業と地域情報交流スペースを運営。

本来事業は、学びの空間「**harenaデスク**」を運営し、地域情報交流スペースとの相乗効果を創出します。利用方法は仕事、勉強、趣味読書等、ニーズに合わせての利用が可能です。

地域情報交流スペースは「**manabiの庭**」の名称で、学習教室や多種多様なイベントを開催し、世代を問わず、学びを通して自由に交流できる、「**まちの小さな教室**」の役割を担います。

## 配置図



本来事業

### 学びの場 harenaデスク

勉強、仕事や趣味に。  
自宅、職場でない居心地のいい学びの空間を。

**harenaデスク**とは「学習スペース」の居心地の良さと「オフィス」の利便性を持ち合わせた空間として仕事、勉強、趣味等、ニーズに合わせ利用できる多目的スペースです。  
一部、親子利用可能な子供スペースを設けるなど、harenaデスクは個人利用のお客様が中心となり、幅広い年齢層の方がご利用できます。



地域情報交流スペース

### 地域交流の場 manabiの庭

学びを通して人が集い交流できる場所

**manabiの庭**とは、あらゆる世代の人、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の協力を得て、地域の学びをサポートしていくことを目標とします。多世代の地域住民や様々な団体が利用できるように、幅広く緩やかな地域ネットワークを構築します。



防災拠点

### 防災拠点の場 BCP対策

非常時は中野区を守る防災拠点として

日本は地震や台風といった災害リスクが高く、首都直下型地震の発生が近年懸念されています。  
また、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しをみせていません。平時は本来事業と地域情報交流スペースとして活用し、災害時には、一時的に**中野区の防災施設**として活用することをご提案します。



※今後協議等により修正・変更となる場合がございます。